

**地域とともに歩む魅力ある学校づくりをめざして****越前市武生第一中学校**

## 1 取り組みの概要

## (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	8回(のべ) 9日

## (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	45人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他(休業中の地区巡回指導)	保護者 約600人

## (3) 特色ある活動

テーマ「不登校の未然防止に向けた小中連携」

## 具体的活動内容

本校は昨年度、国立教育政策研究所から不登校の未然防止をねらいとした『魅力ある学校づくり調査研究事業』の指定を受け、校区内にある4つの小学校を連携校として研究に取り組んできた。研究を進めるにあたり、当初より中学校だけではなく校区の小学校の協力なしでは、十分な成果を期待することは難しいという指摘をいただき、どのように協力体制を築き上げていけばよいのかを模索してきた。

まず、本校および4校区内の小学校の児童生徒の実態をより深く知ることが必要であり、教職員の児童・生徒に対する相互理解を深めるために、小中・小小間での授業参観や小中学校合同研修会などの取組を行った。地域・学校協議会委員の中には、4つの校区の自治振興会から教育に関心の高い人材として推薦をいただいた委員が各1名ずつ含まれているとともに、小学校で地域・学校協議会委員を兼務している委員さんもいることから、それぞれの地域・校区で授業を参観していただいたり、地区の行事等に参加している児童生徒の実態についての情報をいただくことで、学校が地域での子どもたちの様子を知り、理解を深めるための一助となっている。

次に、校区内の6年生児童や保護者に本校の様子を直接見ていただく機会として、11月に学校見学会、2月に新入生説明会を実施した。地域・学校協議会でもこうした取組について紹介をし、小中連携の具体的な内容について理解を深めていただいた。委員の方々には小中共通、またはそれぞれの小学校区の特徴を生かした取組に触れる中で、地域として子どもたちにどのようなことができるのかなど、それぞれの立場からご意見を伺う機会を設



<授業・部活動見学会>

けた。その中でそれぞれの学校が狙いとする教育活動に有効である人材や施設などの資源を紹介していただいたり、地域の中で子どもたちを育てていくための活動の場をどのように提供していけばよいのかなどについて情報を交換することができた。

## 成果と課題

学校は垣根が高く、小中連携に対するそれぞれの学校での取組が地域では十分理解されていないという視点から、本年度は地域・学校協議会委員の方々に実際の授業や行事等への参加の機会を出来るだけ増やし、理解を深めていただいた。連携する小学校と課題を共有し、教職員だけでなく地域を代表する委員の方々に少しずつ実態を知っていただき、今後より一層保護者や地域の協力が得られるよう継続的な働きかけをしていくとことで、互いの意識を高めていく必要がある。